

リング熱老化比較

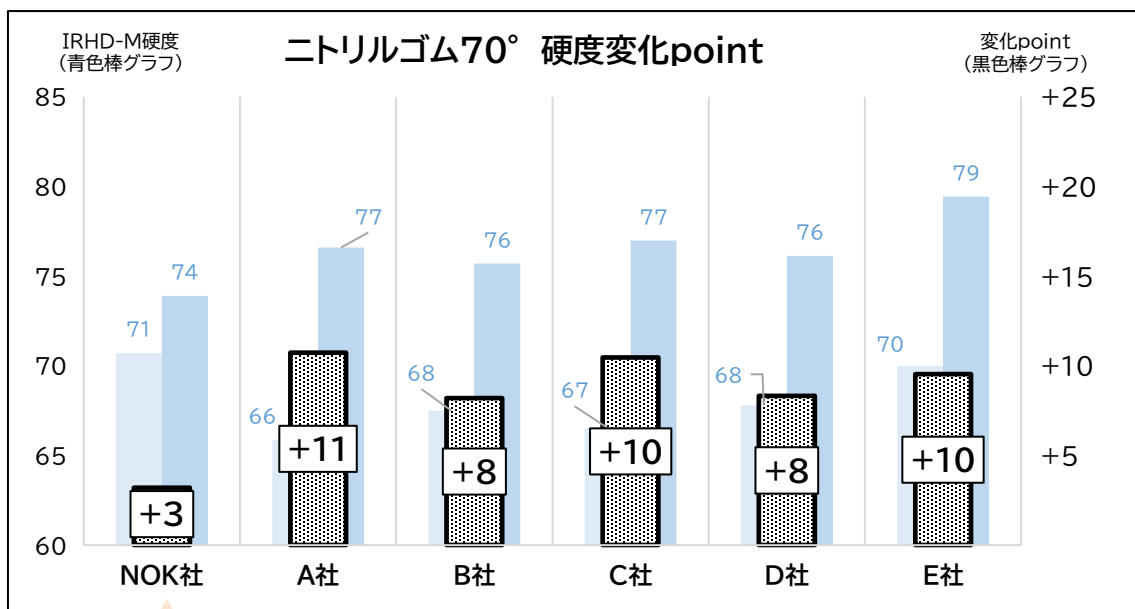
ゴムの性能評価にあたって、熱をかけることがあります
それは、熱をかけるとゴム物性に变化が起き、耐熱性の違いを確認することが出来る為です

今回は、複数のメーカーのリングを高温空气中で一定時間暴露させ、
その劣化度合い(硬度変化量)を比較しました

【試験条件】

サンプルサイズ	リング JIS B2401 P-14(内径13.8x線径2.4)
サンプル材質	ニトリルゴム70°
試験条件	120℃ × 72h

【結果】



硬度の変化量はNOK社が最も小さい結果となりました。(耐熱性良好)
他社はNOK社に比べて硬化しており、耐熱性が低いと想定されます。

弊社では、通常の恒温槽では評価が難しい高温環境(~360℃)での
試験も可能です。ゴム製シール品ご検討の際には弊社ご相談下さい。